

国交省着工数減少に歯止め

21日に仮認定、試行

不具合洗い出しへ連合体

構造計算プログラム

国土交通省は、改正建築基準法に対応した大臣認定構造計算プログラムの完成を急ぐため、開発中のプログラムを21日に仮認定し、試行利用を始める。開発の遅れが住宅着工戸数減少の一因になっていることから、国が主体的に関与して早期認定することを目指す。設計事務所やゼネコン、指定確認検査機関などで構成するコンソーシアムを設置し、仮認定プログラムを使った建築物の構造計算、審査を30—40件程度試行し、プログラムの不具合を洗い出す。同省は試行で見つかった不具合などを修正し、2月下旬をめどに正式認定する予定だ。

導線」としている。改正法では、プログラムに偽造を排除するための改ざん防止機能などの追加が義務付けられ、施行前にあった106件の認定は無効となった。

今回の仮認定は、建築確認手続きの円滑化に向けた異例のケースで、同省は「社会的要請に対応するための措置」（同）と説明する。国が主体的に開発に関与することで、通常1年はかかると思われるプログラムの早期開発を目指す。

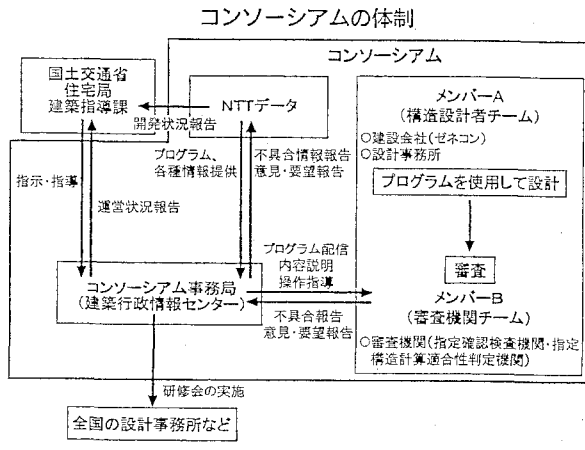
試行利用には、NTTデータが開発中のプログラムを使う。コンソーシアムは、設計事務所とゼネコンによる「構造設計者チーム」と、指定確認検査機関と構造計算適合性判定機関による「審査チーム」で構成される。NTTデータは、設計事務所とゼネコンに「構造設計者チーム」として参加し、審査チームは、指定確認検査機関と構造計算適合性判定機関で構成される。NTTデータは、設計事務所とゼネコンに「構造設計者チーム」として参加し、審査チームは、指定確認検査機関と構造計算適合性判定機関で構成される。

物件と新築物件を1件ずつ仮認定プログラムによって構造計算して実際に申請する。確認検査機関と適判機関はともに5機関ずつ選定し、審査過程で明らかになった問題をNTTデータに報告して、プログラムを改善する。審査機

関に対しては、極力35日以内の審査を要請し、仮認定プログラムによって審査された物件は、問題

「特に着工戸数の落ち込みが大きいマンションの認定手続きの円滑化が見込める」（住宅局建築指

かかかる審査が、約半分ぐ



関に対しては、極力35日以内の審査を要請し、仮認定プログラムによって審査された物件は、問題

「特に着工戸数の落ち込みが大きいマンションの認定手続きの円滑化が見込める」（住宅局建築指

かかかる審査が、約半分ぐ

かかかる審査が、約半分ぐ